


エコアクション21

# 環境活動レポート

【運用期間：平成22年12月～平成23年2月】



平成23年 3月25日

 株式会社 大久保建設

# 目 次

1. 環境方針
2. 組織の概要
3. 環境目標
4. 環境活動計画
5. 環境目標の実績
6. 環境活動計画の取組結果とその評価
7. 環境関連法規の遵守状況及び違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1. 環境方針

# ～環境方針～

## 【環境理念】

株式会社 大久保建設は、土木を主な事業とし、その総ての事業活動について、環境への取組みを重要課題とし、地球環境との調和・共生を目指して、全社一丸となって、自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

## 【環境方針】

環境負荷低減活動を進めていくために以下の「環境方針」を制定します。

- (1) 環境関連法規制とその他要求事項を順守します。
- (2) 環境負荷削減に努め、以下の項目を重要課題として取り組めます。
  - ①使用エネルギー(電気・燃料等)使用量の節減による、二酸化炭素排出量の削減
  - ②水の使用量削減
  - ③一般廃棄物及び産業廃棄物の分別と削減
  - ④エコ運転の推進
  - ⑤業務上で無駄な紙の使用量削減
- (3) 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
- (4) グリーン購入を推進します。
- (5) 地域社会における環境保全活動を積極的に実施して、社会貢献活動を継続して推進します。
- (6) 環境への取組みを環境活動レポートとして作成し、公表します。

制定日:平成 22年 10月 15日

株式会社 大久保建設

代表取締役 大久保 一博

## 2. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 大久保建設  
代表者氏名 代表取締役 大久保 一博
- 2) 所在地  
\*本社  
〒839-0851  
福岡県久留米市御井町2436-7  
  
\*倉庫詰所  
〒839-0851  
福岡県久留米市御井町2436-1  
  
\*資材倉庫・車庫  
〒839-0851  
福岡県久留米市御井町2436-1
- 3) 環境管理責任者 常務 大久保 企啓  
担当者連絡先 TEL 0942-43-1629 FAX0942-43-8835  
E-mail : m-ohkubo@tune.ocn.ne.jp  
事務局(工事課) 槌田 英正  
E-mail : h-tuchida@clear.ocn.ne.jp
- 4) 事業内容 県知事 許可(特-18) 第70193号  
土木工事業、舗装工事業、水道施設工事業  
県知事 許可(般-18) 第70193号  
管工事業、建築工事業、造園工事業、  
県知事 許可(特-18) 第70193号  
石工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業  
とび・土工工事業
- 5) 事業規模
- | 項目   | 単位             | 2007年 | 2008年 | 2009年 |
|------|----------------|-------|-------|-------|
| 売上高  | 百万円            | 720   | 517   | 720   |
| 従業員数 | 人              | 17    | 17    | 19    |
| 床面積  | m <sup>2</sup> | 164   | 164   | 164   |
| 敷地面積 | m <sup>2</sup> | 2,670 | 2,670 | 2,670 |
- 倉庫詰所 軽量鉄骨造 延べ 144m<sup>2</sup>  
資材倉庫車庫 鉄骨造 延べ 230m<sup>2</sup>
- 6) 事業年度 6月～翌年5月

### 3. 環境目標

目標・取組項目(単位)	該当事業所	平成21年度 【基準値】	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	全体	180,878	179,069	177,260	175,452	
	事業所	5,725	5,668	5,610	5,553	
	作業現場	175,153	173,401	171,650	169,899	
	①電気使用量の削減 (kWh)			H21年比 1%削減	H21年比 2%削減	H21年比 3%削減
		全体	27,687	27,410	27,133	26,856
		事業所	15,307	15,154	15,001	14,848
	作業現場	12,380	12,256	12,132	12,008	
	②灯油使用量の削減 (L)			H21年比 1%削減	H21年比 2%削減	H21年比 3%削減
		全体	1,636	1,620	1,603	1,587
		作業現場	1,636	1,620	1,603	1,587
	③ガソリン使用量の削減 (L)			H21年比 1%削減	H21年比 2%削減	H21年比 3%削減
		全体	16,070	15,909	15,749	15,588
作業現場		16,070	15,909	15,749	15,588	
④軽油使用量の削減 (L)			H21年比 1%削減	H21年比 2%削減	H21年比 3%削減	
	全体	40,902	40,493	40,084	39,675	
	作業現場	40,902	40,493	40,084	39,675	
2. 廃棄物等総排出量の削減 (t)	全体	696	689	682	675	
	事業所	1	0.99	0.98	0.97	
	作業現場	695	688	681	674	
	①一般廃棄物の削減 (kg)			H21年比 1%削減	H21年比 2%削減	H21年比 3%削減
		全体	213	211	209	207
	事業所	213	211	209	207	
	②建設廃棄物の削減 (t)			H21年比 1%削減	H21年比 2%削減	H21年比 3%削減
		全体	695	688	681	674
	作業現場	695	688	681	674	
	3. 水資源使用量の削減 (上水使用量) (m <sup>3</sup> )			H21年比 1%削減	H21年比 2%削減	H21年比 3%削減
		全体	175	173	172	170
		事業所	130	129	128	126
作業現場		45	44	44	44	
4. グリーン購入の推進 文房具等・資材=(品目数)・(%)			H21年比 +1品目・+1%	H21年比 +2品目・+2%	H21年比 +3品目・+3%	
	事業所	0	1	2	3	
	作業現場	12	13	14	15	
5. 環境保全活動の実施 (回)	全体	18	18	18	18	
	事業所	14	14	14	14	
	作業現場	4	4	4	4	
	①教育・訓練の実施 (回)			H21年比 維持	H21年比 維持	H21年比 維持
		全体	6	6	6	6
		事業所	2	2	2	2
	作業現場	4	4	4	4	
	②地域貢献活動 (回)			H21年比 維持	H21年比 維持	H21年比 維持
		全体	12	12	12	12
	事業所	12	12	12	12	

備考：

- \*目標設定の基準は、平成21年度の数値を使用しています。
- \*資機材のグリーン購入の推進は、資源投入総重量に対する循環資源購入割合を把握して、数値にて記載します。
- \*文房具等のグリーン購入の推進については、把握できていません。よって、試行期間三カ月を基準とし、毎年1品目増とします。

4. 環境活動計画

平成22年度 環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の1%削減（責任者：佐藤）

取組項目	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール	
				12月～2月	3月～5月
1 電気使用量の1%削減 (1,811kwh以下/月)	事業所/ 作業現場	1 エアコン設定温度を決め、実行する。【冷房28±1℃、暖房20±1℃】	大久保洋/ 首藤	→	→
		2 使用していないパソコン・プリンター等の電源を切る。		→	→
		3 昼休み時間及び不使用箇所の消灯		→	→
2 灯油使用量の1%削減 (285L以下/月)	作業現場	1 ストープの設定温度を決め、実行する。【暖房20±1℃】	木下/吉本	→	→
		2 外出時は、ストーブを切る。		→	→
3 ガソリン使用量の1%削減 (1,555L以下/月)	作業現場	1 暖気運転・アイドリングストップ 【5分以内】	木下/吉本/ 守田/橋本	→	→
		2 急発進・急加速の抑制		→	→
		3 効率的なルートでの運行		→	→
4 軽油使用量の1%削減 (5,277L以下/月)	作業現場	1 暖気運転・アイドリングストップ 【5分以内】	木下/吉本/ 守田/橋本	→	→
		2 急発進・急加速の抑制		→	→
		3 不要な積載物の有無を確認する。又、過積載をしない【1割以内】		→	→

2. 廃棄物排出量の1%削減（責任者：樋田）

取組項目	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール	
				12月～2月	3月～5月
1 一般廃棄物の1%削減	事業所	1 分別の徹底及び廃棄物の2R推進活動を展開する。	大久保企/ 樋田	→	→
		2 作成書類の見直しによる印刷物の削減。		→	→
		3 使用済みのコピー用紙をシュレッダーにかけ再利用する。		→	→
		4 裏紙の使用の推進		→	→
2 建設廃棄物の1%削減	作業現場	1 分別の徹底及び素材別ボックスの設置	木下/吉本/ 守田	→	→
		2 作業ミスによる産廃量の削減		→	→
		3 無駄な資機材を購入しない		→	→

3. 水資源使用量の1%削減（責任者：徳吉）

取組項目	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール	
				12月～2月	3月～5月
1 節水活動	事業所/ 作業現場	1 節水シールの貼り付けとポスター掲示	首藤/守田	→	→
		2 節水こまの取付		→	→

4. グリーン購入の推進：毎年1品目の採用・再生品利用率1%以上使用（責任者：木下）

取組項目	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール	
				12月～2月	3月～5月
1 グリーン購入の調査・推進	事業所/ 作業現場	1 グリーン相当事務用品の調査・購入	佐藤/徳吉	→	→
		2 グリーン購入品相当資機材の調査・再生品利用率の把握		→	→

5. 環境保全活動の実施：維持する（責任者：大久保企）

取組項目	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール	
				12月～2月	3月～5月
1 教育・訓練の実施	事業所/ 作業現場	1 環境方針・目標・活動計画の周知	樋田/徳吉	→	→
		2 緊急事態対応への訓練の実施		→	→
2 地域貢献活動	事業所	1 地域での環境活動に積極的に参加する。【河川等の除草の補助活動】	守田	→	→
		2 地域防災に資する自主活動【通常巡視・異常時巡視】		→	→

備考 ◎ 活動状況の伝達方法と役割

- \* 「事業所担当者」は、毎月5日までに前月の活動実施状況をまとめ、「目標別責任者」に報告する。又、「現場担当者」は、「現場環境責任者」へ報告する。
- \* 「目標別責任者」、「総務部」、「事業部」、及び「現場環境責任者」は、報告・収集したデータを確認し、環境事務局に報告する。
- \* 環境事務局は、これらの結果を、「環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果」に記録する。
- \* 環境管理責任者は、3ヶ月毎にこれらの実績について評価すると共に、問題があれば「目標別責任者」、「現場環境責任者」へ是正・予防処置の指示を出す。

5. 平成22年度 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果(1/2)

5-1. 環境目標の達成状況と評価

方針	環境目標 (負荷の自己チェックの特定項目他)	達成手段 (取組の自己チェックの具体的内容等)	目標値 単位 実績値	該当事業所	スケジュール				目標 達成率	達成状況/是正策 (実施責任者)	評価/指示 (環境管理責任者/代表者)
					12月	1月	2月	合計			
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量 kg-CO2 1%削減/H21年度基準値より  基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	責任者:佐藤	目標値kg-CO2/月	全体	17,879	17,042	21,813	56,534	187	【全体】	【全体】
			実績値kg-CO2/月	全体	9,921	10,278	13,857	33,754	187	*達成/今後も継続する	*目標の達成は出来たが、電気使用量を再検討しCO2排出量削減をもっと減少させて行く事
			評価(月別)	全体	○	○	○	○			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			目標値kg-CO2/月	事業所	510	594	593	1,697	95	【事業所】	【事業所】
			実績値kg-CO2/月	事業所	478	883	833	1,794	95	*未達の原因である電気使用量を再度見直しを行い、達成手段を徹底し削減に努める	*電気の使用量削減について、各部署にて検証し、達成手段の徹底を図っていく事
	評価(月別)	事業所	○	×	×	×					
	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日						
	目標値kg-CO2/月	作業現場	17,369	18,448	21,030	54,837	172	【現場】	【現場】		
	実績値kg-CO2/月	作業現場	9,443	9,593	13,024	31,960	172	*達成は出来たが、電気使用量削減の課題が残る。各現場で達成手段の徹底を計る為の環境の整備を行う	*今後、各現場に於いて電気使用量削減になりうる、方法手段を踏まえ、実施していく事		
	評価(月別)	作業現場	○	○	○	○					
	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日						
電気の削減 削減率 -1%	kwh	1.エアコン設定温度を決め実行する 2.使用していないパソコン・プリンタ等の電源を切る 3.昼休み時間及び不使用部屋の消灯  基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	目標値 kwh/月	全体	1,372	1,938	2,124	5,434	61	【全体】	【全体】
			実績値 kwh/月	全体	2,885	3,118	2,844	8,847	61	*期間を通し未達/達成手段の強化実施	*未達の原因を検証し、全員に協力を仰ぎ、管理徹底させる
			評価(月別)	全体	×	×	×	×			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			目標値 kwh/月	事業所	1,365	1,587	1,585	4,537	95	【事業所】	【事業所】
			実績値 kwh/月	事業所	1,277	1,827	1,894	4,798	95	*冬場でのエアコン設定温度を変更し使用した事により、電気使用量の増となった。設定温度管理及び徹底に努める	*室内の温度管理を再検討し、全員に徹底するよう指示を出し、今後の使用量削減に努める
評価(月別)	事業所	○	×	×	×						
記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日							
担当者:大久保企洋	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日						
目標値 kwh/月	作業現場	7	351	539	897	22	【現場】	【現場】			
実績値 kwh/月	作業現場	1,808	1,291	1,150	4,049	22	*エアコン設定温度の変更及び工事電力の24時間使用(水中ポンプ)により使用量増となった。電気使用量管理の徹底	*室内の温度管理及び効率的な業務を行う事により、残業時間を減らし、使用量の削減に努める			
評価(月別)	作業現場	×	×	×	×						
記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日							
担当者:首藤	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日						
灯油の削減 削減率 -1%	L	1.ストーブの設定温度をき決め実行する 2.外出時は、ストーブを切る  基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	目標値 L/月	作業現場	301	209	345	855		【現場】	【現場】
			実績値 L/月	作業現場	252	190	291	733	117	*各現場とも、達成手段の内容を把握し実施出来た。今後	*今後も継続、維持していく事
			評価(月別)	作業現場	○	○	○	○			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			担当者:木下、吉本	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
ガソリンの削減 削減率 -1%	L	1.暖気運転・アイドリングストップ 2.急発進・急加速の抑制 3.効率的なルートでの運行  基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	目標値 L/月	作業現場	1,747	1,803	1,114	4,664		【現場】	【現場】
			実績値 L/月	作業現場	1,158	1,808	1,430	4,192	111	*ほぼ達成/取組の継続の実施	*今後も継続、維持していくと共に、達成手段の強化に
			評価(月別)	作業現場	○	○	×	○			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			担当者:木下、吉本、守田、橋本	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
軽油の削減 削減率 -1%	L	1.暖気運転・アイドリングストップ 2.急発進・急加速の抑制 3.不要な積載物の有無を確認する 又、過積載をしない  基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	目標値 L/月	作業現場	4,788	4,424	6,820	15,830		【現場】	【現場】
			実績値 L/月	作業現場	2,107	1,870	3,219	7,196	220	*達成/取組の継続の実施	*相乗りを強化し、不必要な車両を極力運行させないよ
			評価(月別)	作業現場	○	○	○	○			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			担当者:木下、吉本、守田、橋本	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
廃棄物等総排出量削減	廃棄物等総排出量の削減 1%削減/H21年度基準値より  基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	責任者:植田	目標値 kg/月	全体	57,018	58,017	57,018	172,053	127	【全体】	【全体】
			実績値 kg/月	全体	59,008	71,004	5,004	135,014	127	*達成/取組の継続の実施	*今後も継続、維持していく事
			評価(月別)	全体	×	×	○	○			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			目標値 kg/月	事業所	18	17	18	53	379	【事業所】	【事業所】
			実績値 kg/月	事業所	8	4	4	14	379	*達成/取組の継続の実施	*今後も継続、維持していく事
	評価(月別)	事業所	○	○	○	○					
	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日						
	目標値 t/月	作業現場	57	58	57	172		【現場】	【現場】		
	実績値 t/月	作業現場	59	71	5	135	127	*期間中での目標の達成は出来ているが、今後も排出量の削減に向け、徹底した対策を行い実施して行く	*今後、各現場での排出量削減の為の対応策を策定し進めていく事		
	評価(月別)	作業現場	×	×	○	○					
	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日						
一般廃棄物の削減 削減率 -1%	kg	1.分別の徹底及び2R推進活動を展開する 2.作成書類の見直しによる印刷物の削減 3.使用済みのコピー用紙をシュレッダーにかけ再利用する 4.裏紙の使用の推進  基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	目標値 kg/月	事業所	18	17	18	53		【事業所】	【事業所】
			実績値 kg/月	事業所	8	4	4	14	379	*エコ取組の実施により、排出量が削減出来たと思う 今後も継続して行く	*今後も継続、維持していく事
			評価(月別)	事業所	○	○	○	○			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			担当者:大久保企、植田	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
建設廃棄物の削減 削減率 -1%	t	1.分別の徹底及び素材別ボックスの設置 2.作業ミスによる産廃量の削減 3.無駄な資機材を購入しない  基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	目標値 t/月	作業現場	57	58	57	172		【現場】	【現場】
			実績値 t/月	作業現場	59	71	5	135	127	*期間を通して達成は出来ているが、今後においても月々の廃棄物の削減に重点を置き、各現場の創意工夫により進めていく	*各作業所では、廃棄物をもっと削減する為に、現場に合った対応策を打ち出し、排出量管理を徹底させる
			評価(月別)	作業現場	×	×	○	○			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			担当者:木下、吉本、守田	記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日			
			記録者:植田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				

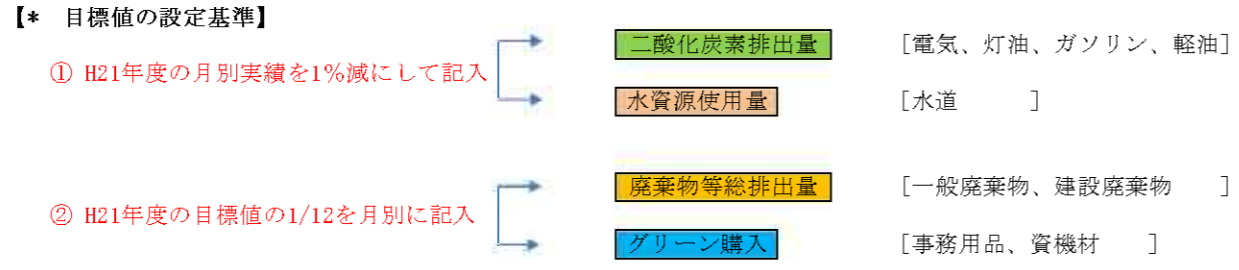
\*備考  
 \* ○ : 実績が目標を下回った、又は同じの場合      × : 実績が目標を上回った場合  
 \* 四捨五入の関係で端数が合わない場合がある  
 \* 達成率の算出方法 : 目標値の合計 ÷ 実績値の合計 × 100 = ○○ %

5. 平成22年度 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果(2/2)

5-2. 環境目標の達成状況と評価

方針	環境目標 (負荷の自己チェックの特定項目他)	達成手段 (取組の自己チェックの具体的内容等)	目標値 単位 実績値	該当事業所	スケジュール				目標 達成率	達成状況/是正策 (実施責任者)	評価/指示 (環境管理責任者/代表者)
					12月	1月	2月	合計			
水資源 使用量削減	水資源(水道)の削減 削減率 -1% m3 基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	1. 節水シールの貼り付けとポスター掲示 2. 節水こまの取付 担当者: 徳吉	目標値 m3/月	全体	85	-	9	74	206	【全体】 *期間を通して、ほぼ達成できているが、達成手段である節水こまの取付けが出来ていない。今後取付ける 【事業所】 *期間中は、忙しい時期と重なり節水こまを取付ける事が出来なかったが、その分節水を促し徹底させた 【現場】 *期間中の現場では、水道の使用はなかった。また、一部の現場では、井戸水を使用した。	【全体】 *目標はほぼ達成出来ているが、取組の一つである節水こま取付けが未達である。今後再検討する 【事業所】 *節水こま取付けについては、今後の課題として検討していく。また、併せて達成手段の変更も考えていく 【現場】 *今後も継続、維持していく事
			実績値 m3/月	19	-	17	36	83			
			評価(月別)	○	-	×	○	×			
			記録者: 樋田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			目標値 m3/月	事業所	21	-	9	30			
			実績値 m3/月	19	-	17	36	83			
評価(月別)	○	-	×	×							
記録者: 樋田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日							
目標値 m3/月	作業現場	44	-	-	44						
実績値 m3/月	0	-	0	0	-						
評価(月別)	-	-	-	-							
記録者: 樋田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日							
グリーン購入の推進	グリーン購入の調査・推進 (事務用品) +1品目 基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	1. グリーン相当事務用品の調査・購入 担当者: 木下	目標値 品目/月	事業所	0.08	0.08	0.08	0.25	100	【事業所】 *達成/継続する 調査を踏まえて、年間一品目ごと増してゆく 【現場】 *期間中での把握が困難であるので、年間を通し結果を出す また、現場に於いては、グリーン購入品相当資材の購入は もちろんの事、新材資材購入時は、現場を良く把握し注文し、使用する事により再生品利用率を上げる	【事業所】 *確実に毎年一品目を必ず購入していくが、その都度グリーン購入を実施する事に努める。また、事前の調査も併せて実施していく事 【現場】 *短期間での把握では良く判らないが、毎月の現状を記録し傾向をみていく。 このまま継続していく
			実績値 品目/月	1.0	-	-	1.0				
			評価(月別)	○	-	-	○				
			記録者: 樋田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			目標値 %/月	作業現場	1.08	1.09	1.08	3.24			
			実績値 %/月	-	-	0.7	0.7	22			
評価(月別)	-	-	×	×							
記録者: 樋田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日							
環境保活動の実施	教育・訓練の実施 現状維持 基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	1. 環境方針・目標・活動計画の周知 2. 緊急事態対応への訓練の実施 担当者: 樋田	目標値 回/月	事業所	1	-	-	1	100	【事業所】 *達成/継続する 忙しい中に於いて、現場との合同で教育を実施した 【現場】 *時期的に忙しい中での安全・訓練を実施する事が出来た 今回は一現場で行ったが、全員参加が出来る様になりたい	【事業所】 *エコ活動推進を全員に理解を得るため、出来るだけ事業別に実施していく事 【現場】 *現場でのエコ活動推進を行う為の、環境づくりを行い充実させる
			実績値 回/月	1	-	-	1				
			評価(月別)	○	-	-	○				
			記録者: 樋田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				
			目標値 回/月	作業現場	-	1	1	2			
			実績値 回/月	1	1	1	3	150			
評価(月別)	○	○	○	○							
記録者: 樋田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日							
地域貢献活動	地域貢献活動 現状維持 基準値(平成21年度) 目標値(平成22年度)	1. 地域での環境活動に積極的に参加する [河川等の除草の補助活動] 2. 地域防災に資する自主活動 [通常巡視・異常時巡視] 担当者: 守田	目標値 回/月	事業所	1	1	1	3	100	【事業所】 *達成/継続する 期間中は、河川の除草の依頼は有りませんでした、地域防災の巡視活動は、毎月実施した	【事業所】 *今後も継続、維持していく
			実績値 回/月	1	1	1	3				
			評価(月別)	○	○	○	○				
			記録者: 樋田	記録日	1月17日	2月18日	3月8日				

\* 備考  
 \* ○ : 実績が目標を下回った、又は同じの場合      × : 実績が目標を上回った場合  
 \* 四捨五入の関係で端数が合わない場合がある  
 \* 達成率の算出方法: 目標値の合計 ÷ 実績値の合計 × 100 = ○○ %      ただし、グリーン購入については、+1%であるので実績値の合計 ÷ 目標値の合計 × 100 = ○○ %



保管 : 環境事務局



## 6. 環境活動計画の実施状況と評価

### 1. 二酸化炭素排出量の1%削減（責任者：佐藤）

取組項目	活動項目	担当者	該当事業所	実施状況			評価
				12月	1月	2月	
電気使用量の削減(1%)	エアコン設定温度を決め、実行する【暖房20+1℃、冷房28-1℃】	大久保洋	事業所	×	×	×	・当期間中は、例年のない冷え込みが続き、暖房の設定温度を変え業務する事になったが、設定温度については、再度検討する必要があると思われる。
	使用していないパソコン、プリンター等の電源を切る			○	○	○	
	昼休み時間及び不使用箇所の消灯			○	○	○	
エアコン設定温度を決め、実行する【暖房20+1℃、冷房28-1℃】	エアコン設定温度を決め、実行する【暖房20+1℃、冷房28-1℃】	首藤	作業現場	○	○	○	・現場に於いては、暖房をストーブで補い設定温度を確保出来たが、灯油の削減にはつながらなかった。全体的には、計画通り進められた。
	使用していないパソコン、プリンター等の電源を切る			○	○	○	
	昼休み時間及び不使用箇所の消灯			○	○	○	
灯油使用量の削減(1%)	ストーブの設定温度を決め、実行する【暖房20+1℃】	木下/吉本	作業現場	○	○	○	・計画通り進められた。
	外出時は、ストーブを切る			○	○	○	
ガソリン使用量の削減(1%)	暖気運転・アイドリングストップ【5分以内】	木下/吉本/守田/橋本	作業現場	×	×	○	・冬場のアイドリング時間を全員に周知徹底して下さい。また、車内で長く暖を取る行為等についても併せて、各責任者方々へのご指導をお願いします。
	急発進・急加速の抑制			○	○	○	
	効率的なルートでの運行			○	○	○	
軽油使用量の削減(1%)	暖気運転・アイドリングストップ【5分以内】	木下/吉本/守田/橋本	作業現場	×	×	○	・上記と同じ。
	急発進・急加速の抑制			○	○	○	
	不要な積載物の有無を確認する。又、過積載をしない【1割以内】			○	○	○	
記録日：各月別 (記録者：植田 評価者：大久保企)				1月11日	2月14日	3月9日	3月10日

### 2. 廃棄物搬出量の1%削減（責任者：植田）

取組項目	活動項目	担当者	該当事業所	実施状況			評価
				12月	1月	2月	
一般廃棄物の1%削減	分別の徹底及び廃棄物の2R推進活動を展開する	大久保企/植田	事業所	○	○	○	・現在の所、コピー機の性能上裏紙印刷は出来ないが、その分印刷前に書類のチェックを徹底し、ミス印刷物を削減して下さい。また、裏紙使用の再利用を工夫し、使用するようお願いいたします。
	作成書類の見直しによる印刷物の削減			×	○	○	
	使用済みのコピー用紙をシュレッダーにかけ再利用する			×	×	×	
	裏紙の使用の推進			×	×	×	
建設廃棄物の1%削減	分別の徹底及び素材別ボックスの設置	木下/吉本/守田	作業現場	×	○	×	・ボックス別の分別が未だ徹底されていないので、全員が周知徹底するよう、再教育をお願いします。尚、現場によっては、徹底されている。
	作業ミスによる産廃搬出量の低減			○	○	○	
	無駄な資機材を購入しない			○	○	○	
記録日：各月別 (記録者：植田 評価者：大久保企)				1月11日	2月14日	3月9日	3月10日

実施状況の判定 ○：実施されている ×：実施されていない -：判定できない、該当しない

## 6. 環境活動計画の実施状況と評価

### 3. 水資源使用量の1%削減（責任者：徳吉）

取組項目	活動項目	担当者	該当事業所	実施状況			評価
				12月	1月	2月	
節水活動	節水シールの貼り付けとポスター掲示	首藤	事業所	○	○	○	・節水コマについては、業務上の都合により取付けが未施工となっていますので、今後取付けを行う事 ・当期間中、現場に於いては水道設備は行わなかった。 尚、一部の現場では井戸水を使用した。
	節水コマの取付け			×	×	×	
	節水シールの貼り付けとポスター掲示	守田	作業現場	—	—	—	
	節水コマの取付け			—	—	—	
記録日：各月別（記録者：植田 評価者：大久保企）				1月11日	2月14日	3月9日	3月10日

### 4. グリーン購入の推進：毎年1品目の採用・再生品利用率1%以上使用（責任者：木下）

取組項目	活動項目	担当者	該当事業所	実施状況			評価
				12月	1月	2月	
グリーン購入の調査・推進	グリーン相当事務用品の調査・購入	佐藤	事業所	○	○	○	・今後も調査表にそって、1品目以上を購入するよう推進して下さい。 ・月々の使用量を把握しておく。 ・再生品利用率も整理出来る範囲で、まとめる事。
	グリーン購入品相当資機材の調査・再生品利用率の把握	徳吉	作業現場	—	—	○	
記録日：各月別（記録者：植田 評価者：大久保企）				1月11日	2月14日	3月9日	3月10日

### 5. 環境保全活動の実施：維持する（責任者：大久保企）

取組項目	活動項目	担当者	該当事業所	実施状況			評価
				12月	1月	2月	
教育・訓練の実施	環境方針・目標・活動計画の周知	植田	事業所	○	○	—	・活動に於ける周知教育は予定通り実施されていますが、業務上の都合により出席者が少なかつた。 ・本期間中は、事業所と合同で実施したが、今後は各現場に於いて、自主的に実施する。 ・河川の除草作業の依頼はなかつたが、その他については、予定通り行われた。 今後も活動の推進を積極的に行って下さい。
	緊急事態対応への訓練の実施			—	—	—	
	環境方針・目標・活動計画の周知	徳吉	作業現場	○	○	—	
	緊急事態対応への訓練の実施			—	—	○	
地域貢献活動の推進	地域での環境活動に積極的に参加する【河川等の除草の補助活動】	守田	作業現場	—	—	—	
	地域防災に資する自主活動【通常巡視・異常時巡視】			○	○	○	
記録日：各月別（記録者：植田 評価者：大久保企）				1月11日	2月14日	3月9日	3月10日

実施状況の判定 ○：実施されている ×：実施されていない —：判定できない、該当しない

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物委託基準の遵守	■適、□不
	産業廃棄物処理の義務	■適、□不
	処理基準の遵守	■適、□不
	保管基準の遵守	■適、□不
	許可業者への委託	■適、□不
	委託基準の遵守	■適、□不
	管理票(マニフェスト票)の交付	■適、□不
	管理票(マニフェスト票)の写しの保存期間	■適、□不
	管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	■適、□不
	管理票(マニフェスト票)の写しの送付を受けるまでの期間	■適、□不
	投棄禁止	■適、□不
	焼却禁止	■適、□不
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	建設業を営む者の責務	■適、□不
	分別解体等実施義務	■適、□不
	届出に係る事項の説明義務	■適、□不
	請負契約に係る書面の記載事項	■適、□不
	再資源化実施義務	■適、□不
	発注者への報告等	■適、□不
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	使用の制限	■適、□不
	適応除外	■適、□不
	特定特殊自動車を業として使用する者が守るべき指針	■適、□不
騒音規制法	特定施設の設置の届出	■適、□不
	規制基準の遵守	■適、□不
	特定建設作業の事前届出	■適、□不
	規制基準の遵守	■適、□不
振動規制法	特定施設の設置の届出	■適、□不
	規制基準の遵守	■適、□不
	特定建設作業の事前届出	■適、□不
	規制基準の遵守	■適、□不
違反、訴訟等の有無		
* 当社に係る環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は有りませんでした。		
また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も有りませんでした。		

## 8. 代表者による全体の取組状況の評価と見直しの結果

評価及び見直し実施日		<input type="checkbox"/> 定期見直し（事業年度終了後） <input checked="" type="checkbox"/> 臨時見直し 実施日：平成23年3月25日
評価	<b>【環境への取組は適切に実施されているか】</b> *環境方針で誓約した事が実行されているか	* 環境目標にて環境方針で誓約いたしました項目を定め、環境活動計画に沿って実行されている。 その中に於いて、 *電力の削減の取組み方が徹底されず、甘かったのではないかもっと徹底する必要がある。(再検討し、このまま継続) *廃棄物の削減については、分別の徹底を全員がよく把握出来ていないので、教育等によりもう少し徹底させる。 *エコ活動が全員に浸透し継続出来るよう、活動を進める事。
	<b>【環境経営システムが有効に機能しているか】</b> *その場の取組でなく、決められたルールに基づいて行動しているか *目標を明確にし、取組の結果を評価しているか *役割、責任等を定め、全員で取組んでいるか	* 環境教育等にて、全員に周知徹底を呼び掛け実行してきたが、業務上の関係で全員の周知徹底がなされていないと思われる。 * 目標を明確にし、結果を踏まえ評価されている。 * 実施体制に基づき、役割分担を明確にし取組んできたが、全員による取組が若干欠けていると思われる。
見直し(変更の必要性と指示)	<b>【環境方針】</b> *変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	* 試行期間が短期間であるので、現状のまま維持・継続する。
	<b>【環境目標・環境活動計画】</b> *変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	* 試行期間が短期間であるので、現状のまま維持・継続する。
	<b>【その他の環境経営システムが有効に機能しているか】</b> *変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無  ■環境負荷、取組の自己チェック ■環境関連法規等の取りまとめ ■実施体制 ■教育・訓練 ■環境コミュニケーション ■実施及び運用 ■緊急事態への準備と訓練 ■取組状況の確認と評価 ■問題点の是正処置 ■文書及び記録の作成整理	* 文書・記録といった各関係書類はよく整備され特に問題はないと思われるが、今後の実施の方法、記録のまとめ方に改善の必要性があれば、見直しを実施する。 従って、その他の環境経営システムは、現状でまま維持・継続する。

保管：環境事務局